



# 第83期中間報告書

(2008年4月1日～2008年9月30日)

蛇の目マシン工業株式会社

証券コード：6445





代表取締役社長

加藤 隆一

株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお喜び  
申し上げます。

また、日頃より暖かいご支援を賜りまして、厚く御礼  
申し上げます。

ここに第83期第2四半期(2008年4月1日から2008年9  
月30日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

(1) 経営成績

当第2四半期累計期間における世界経済は、米国に端  
を發した金融危機、株価下落、円高・ドル安等の為替の  
大幅変動、原油・原材料価格の高値推移等により、急激  
な景気減速が懸念される厳しい状況が続きました。

このような経営環境の中、ミシン関連事業では、ミシ

ン販売台数は海外73万台（前年同期比1万台増）、国内  
12万台（前年同期比2万台増）と増加いたしました。が、  
海外販売における円高の影響、台数増となった新興国向  
け販売は低価格機種の比率が高かったこと等により、第  
2四半期累計期間の売上高は16,356百万円（前年同期比  
972百万円減）となりました。

また、原材料価格の上昇に対し価格転嫁を図りましたが、  
今期に入り部品価格がより一段の上昇となったこと、  
主力生産工場のある台湾の通貨が台湾元高で推移したこ  
と等により、売上原価が上昇いたしました。

産業機器事業は、ロボット・エレクトロプレス関連に  
おいて、新規顧客開拓ならびにキャストシリーズの投入  
効果等により、前年同期並みの販売を確保できましたが、  
アルミダイカスト casting、真空成型装置、小ロット casting  
部品等を加えた産業機器事業全体の第2四半期累計期間  
の売上高は、自動車関連業界など企業の設備投資抑制の  
動きによる受注減もあり、2,481百万円（前年同期比218  
百万円減）となりました。

情報処理他サービス事業は、企業の投資抑制の影響に  
よるソフト開発案件のずれ込み等により、減収となり、  
24時間風呂・整水器事業につきましても減収となりまし  
た。

また、株式市場の急落により、投資有価証券の評価損  
245百万円を特別損失に計上いたしました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の**売上高は**  
**21,752百万円**（前年同期比5.9%減）、**営業利益は227百万円**

(前年同期比45.7%減)、**経常利益は166百万円**(前年同期比45.7%減)、**四半期純損失は551百万円**(前年同期は355百万円の純損失)となりました。

前年同期増減額及び増減率は、前年同四半期とは適用される会計基準が異なるため参考として記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

当第2四半期末の**総資産は58,307百万円**(前連結会計年度末比7百万円増)となりました。

**資産の部**では、棚卸資産の増加により流動資産が23,002百万円(前連結会計年度末比132百万円増)となりました。固定資産については、海外生産施設の建替、J'Sビルの建設等による有形固定資産の増加、評価損計上による投資有価証券の減少により、**35,304百万円**(前連結会計年度末比124百万円減)となりました。

**負債の部**では、主に短期借入金の増加により流動負債が19,934百万円(前連結会計年度末比2,319百万円増)、固定負債が長期借入金の減少により**20,284百万円**(前連結会計年度末比1,118百万円減)となりました。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

### <営業活動によるキャッシュ・フロー>

**697百万円のマイナス**(前年同四半期比117百万円減)となりました。この主な要因は棚卸資産の増加によるものであります。

### <投資活動によるキャッシュ・フロー>

**1,119百万円のマイナス**(前年同四半期比582百万円減)

となりました。この主な要因は有形固定資産の取得によるものであります。

### <財務活動によるキャッシュ・フロー>

**1,462百万円**(前年同四半期比80百万円減)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における**現金及び現金同等物**は前連結会計年度末から519百万円減少し**3,842百万円**となりました。

## (3) 通期の見通し

今後につきましては、世界的な不況の長期化が危惧される状況下、①販売の拡大に大きな期待を寄せることなく、確実な効果の期待できる経費の徹底した削減を行なう。②部品価格が上昇している状況下で製造コストの低減を目指して、より効率的な生産のための生産体制の見直し、適地適産、最適部品調達を徹底を図る。等の施策実行を通じて、経営・財務体質の強化・改善を図ってまいります。

なお、当期の配当金につきましては未定としておりましたが、当第2四半期の業績を踏まえ、株主のみなさまには誠に申し訳なく存じますが、無配とさせていただきます。

株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。

**ホームページ** <http://www.janome.co.jp>

# 四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (2008年9月30日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>23,002</b>	<b>流動負債</b>	<b>19,934</b>
現金及び預金	4,459	支払手形及び買掛金	4,415
受取手形及び売掛金	7,468	短期借入金	11,626
有価証券	240	未払法人税等	131
商品及び製品	6,247	賞与引当金	656
仕掛品	676	その他	3,104
原材料及び貯蔵品	2,173		
その他	1,859	<b>固定負債</b>	<b>20,284</b>
貸倒引当金	△122	社債	800
		長期借入金	8,785
		退職給付引当金	4,644
		その他	6,054
<b>固定資産</b>	<b>35,304</b>	<b>負債合計</b>	<b>40,219</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>26,046</b>	<b>(純資産の部)</b>	
建物及び構築物(純額)	6,478	<b>株主資本</b>	<b>14,532</b>
土地	16,548	資本金	11,372
その他(純額)	3,018	資本剰余金	823
		利益剰余金	2,661
		自己株式	△325
<b>無形固定資産</b>	<b>2,103</b>	<b>評価・換算差額等</b>	<b>2,990</b>
のれん	1,492	その他有価証券評価差額金	46
その他	610	繰延ヘッジ損益	△3
		土地再評価差額金	4,321
		為替換算調整勘定	△1,374
<b>投資その他の資産</b>	<b>7,154</b>	<b>少数株主持分</b>	<b>564</b>
		<b>純資産合計</b>	<b>18,088</b>
<b>資産合計</b>	<b>58,307</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>58,307</b>

四半期連結損益計算書（2008年4月1日から2008年9月30日まで）

（単位：百万円）

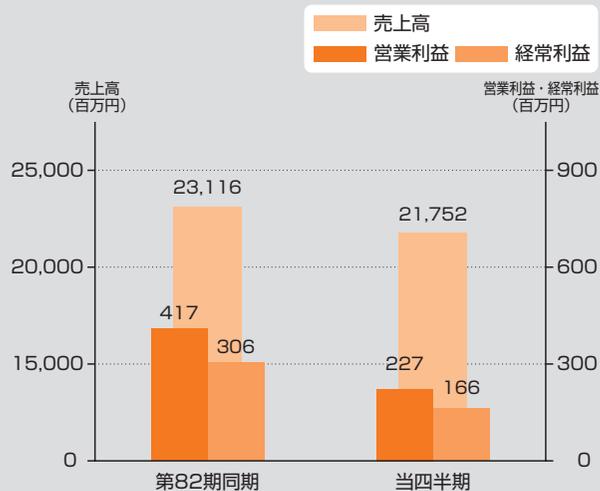
科 目	金	額
売 上 高		21,752
売 上 原 価		11,959
売 上 総 利 益		9,793
販売費及び一般管理費		9,566
営 業 利 益		227
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	19	
受 取 配 当 金	19	
為 替 差 益	171	
そ の 他	113	323
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	252	
そ の 他	132	384
経 常 利 益		166
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益	1	1
特 別 損 失		
投 資 有 価 証 券 評 価 損	245	
固 定 資 産 除 売 却 損	148	
減 損 損 失	24	418
税金等調整前四半期純損失（△）		△ 250
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	186	
法 人 税 等 調 整 額	83	269
少 数 株 主 利 益		30
四 半 期 純 損 失（△）		△ 551

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（2008年4月1日から2008年9月30日まで）

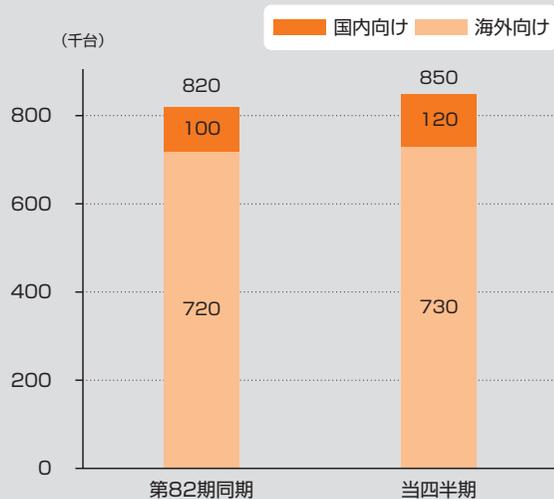
（単位：百万円）

科 目	金	額
営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 697
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,119
財務活動によるキャッシュ・フロー		1,462
現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 164
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）		△ 519
現金及び現金同等物の期首残高		4,361
現金及び現金同等物の四半期末残高		3,842

●四半期連結決算推移 (第2四半期連結累計期間)

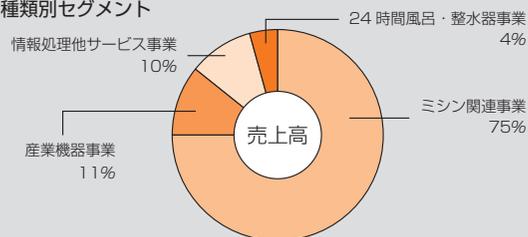


●マシン販売台数 (第2四半期連結累計期間)

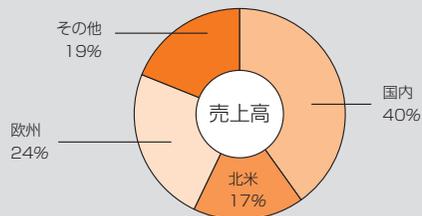


●連結セグメント情報 (2008年4月1日~2008年9月30日)

事業の種類別セグメント



地域別セグメント



●株式の状況 (2008年9月30日現在)

発行可能株式総数 3億6,000万株  
 発行済株式総数 1億9,521万4,448株  
 当四半期末株主数 22,577名 (第82期末比723名減)

株主構成比率 (所有株式数ベース)



### 家庭用ミシン生産累計5,000万台達成 (2008年7月22日(火))



当社グループは、2008年7月22日、ミシン生産累計台数が5,000万台を達成いたしました。現在、4工場で年間約180万台の生産量を誇っております。

当社グループは、多様化するニーズに対処するべく、高品質なミシンの開発・生産を

行なうとともに、ミシンの付加価値を高めるためのソフト開発を行なっております。今後は生産累計6,000万台達成に向け、「価値ある商品とサービスの提供」にさらに注力し、「世界の人々の豊かで創造的な生活の向上」を目指してまいります。



### 刺しゅう専用コンピュータミシン 「Memory Craft 200E」新発売

「刺しゅうで彩るハンドメイド」をコンセプトに、バラエティー豊かな刺しゅうデザインを内蔵し、簡単にオリジナルの刺繍作品を仕上げることができます。



### 24時間風呂「湯名人スーパーCT」・ 「湯あがり美人CT」新発売

もっと使いやすく、もっと見やすく…  
親切丁寧、簡単操作パネルで大満足！

限られた水資源を大切に  
人と地球に優しい商品です

【湯名人スーパーCT】



### 「仕事と子育ての両立を積極的に支援する企業」 認定マーク（愛称：くるみん）を取得

(2008年7月18日(金))

当社は、次世代育成支援対策推進法に基づく「基準適合一般事業主」の認定を受け、厚生労働省の「次世代認定マーク（愛称：くるみん）」（右図）を取得しました。当社では従来から、育児休業制度の拡充など、仕事と子育ての両立に向けた支援体制づくりを積極的に行なってまいりましたが、このほどその実績が評価されたことから、次世代認定マークを取得することができました。



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
【郵便物送付先・電話照会先】	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-78-2031（フリーダイヤル）
同取次窓口	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店

### 株券電子化後の住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先

1. 証券保管振替機構（ほふり）に株券を預けられている株主様：お取引証券会社等
2. 証券保管振替機構（ほふり）に株券を預けられていない株主様※：特別口座を開設する下記口座管理機関  
※お申出を受付けることができるのは、平成21年1月26日（月）からとなりますのでご了承ください。

### 記

- ・口座管理機関 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
- ・同ご照会先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
- 【郵便物送付先・電話照会先】 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-78-2031（フリーダイヤル）
- ・同取次窓口 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店・全国各支店

### 株券電子化実施前後の単元未満株式の買取・買増請求のお取扱いについて

ほふりに株券を預けられていない株主様に関しましては、以下のとおりとなりますので、ご留意下さい。

1. 単元未満株式の買取請求  
受付停止期間：平成21年1月5日（月）～平成21年1月25日（日）  
平成20年12月25日（木）～平成21年1月4日（日）（実質平成20年12月30日（火））までに受付したものの買取代金の支払は平成21年1月26日（月）とさせていただきます。（買取価格はご請求日の終値となります。なお、平成20年12月30日までに値が付かない場合は返却させていただきます。）
2. 単元未満株式の買増請求  
受付停止期間：平成20年12月12日（金）～平成21年1月25日（日）

なお、ほふりに株券を預けられている株主様に関しましても、株券電子化直前に単元未満株式の買取請求・買増請求の受付停止期間が設けられますが、詳細はお取引証券会社等にご確認ください。

## 蛇の目ミシン工業株式会社

〒104-8311 東京都中央区京橋3-1-1 TEL. 03 (3277) 2071